
薄桜鬼 ～鬼姫と呼ばれる鬼～

?ユッキーは魔王様?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

薄桜鬼　　（鬼姫と呼ばれる鬼）

【Nコード】

N0474Z

【作者名】

？ユツキーは魔王様？

【あらすじ】

届かない声　わからない自分の存在理由　でも確かに生きている
記憶がない少女が今ここに！！

主人公設定（前書き）

薄桜鬼で新連載

やっちまったよ!!

主人公設定

主人公設定

名前 紅月こうづき 夜宵やよい

年齢 18

身長 161.2

体重 「言わないよ」

容姿 整った顔立ちで可愛い瞳が深紅色で髪色が銀色みたいな白髪

性格 強そうに見せるタイプだが実は……

好きな色 灰色 水色

詳細 親に捨てられたと勘違いしており、現代で生きてきたが突然トリップし幕末へと行く
記憶が無い

親の名前

香苗

詳細 夜宵の母親で現代に送った本人

隆哉

詳細 記憶を消した本人夜宵の父親

両名ともに亡くなっています!!

ヒロイン書いてほしいです

主人公設定（後書き）

とりあえず終わり

第0夜くプロローグく（前書き）

現代です！！

第0夜〜プロローグ〜

「ハアハア・・・ハア・・・ハア

またこの夢」

私には記憶がない

なのに何故？

古く大きい建物と言うより城と言った方がいい建造物

だがそれは

古く

現代にはあまり見かけない建物

その奥には私が居てふすまから見える外の風景を眺めてる

その風景も現代とはかけ離れている

まさにその時代は

江戸や幕末といった方がいい景色

そこにはもう1人女の人がいる

その女の人に向かって

『お母様』と呼んでいる

そこから場面が変わって

私のまわりは

赤

紅

赤

紅

ア
カ

ア
カ

炎の赤

赤ばっか

そして

血
の
紅

それともう1つ

色と瞳の色の人についてるアカ
.....私と同じ髪

それから

黒い闇が広がる

いつもそこで途切れ起きる夢

でも

リアル過ぎて

怖い

黒い

真っ黒い闇に取り込まれそうで怖い

怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖いコワイ怖い怖い怖い怖い怖い怖い

「夜宵〜ご飯〜」

『っ！！！ハイ今いく』

今の声は私の義母さん

あの雨交じりの雪が降っている日私は義母さんに拾われた

いつも通りの学校

でもその日は

いつもと違っていた

「紅月さん？」

『そうですけど』

私が1人帰っていると声をかけられた

振り返ると

キレイな女の人

「これを夜宵様に」

そういつて差し出されたものは

『刀？』

そもそも様？ っておかしい

「その刀はあなたが本来持つべき刀

―――――
月光華^{げっこうか}」

『月光華^{げっこうか}？』

「あの子たちを助けてください

我等の姫であり宝の鬼姫様」

『えっ何言って??.』

私が目にしたのはきれいな

狂い咲きの

桜

突然上がる突風

振り返るとさっきの女の人はいなくなっていた

桜の花びらが1枚1枚散っていく

すると何故か眠くなっていた

そして私の意識は

闇に落ちてった・・・

第0夜〜プロローグ〜（後書き）

どうでしたでしょうか？

感想欲しいです！！！！！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0474z/>

薄桜鬼 ～鬼姫と呼ばれる鬼～

2011年12月2日18時45分発行